

(注) 本報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

## ベナン月報(2021年4月)

### 【内政】

- 11日、大統領選挙の投票が実施され、大きな混乱なく終えた。(12日、La Nation 紙)
- 16日、政治団体「民主主義回復戦線(FRD)」の代表で、今次の大統領選に登録したが推薦人不足のため非適格とされた憲法学者ジョエル・アイボ(Joel AIVO)が、3名の協力者とともに、国家の安全に対する侵犯と資金洗浄の容疑で逮捕された。(19日、L'Événement Précis 紙)
- 21日、憲法裁判所は、大統領選挙の結果を確定した。得票率50.63%、タロン候補・タラタ副大統領候補の投票率86.30%(得票数1,982,534票)、スマヌ候補・ウンペ副大統領候補11.37%(同261,096票)、コウエ候補・アゴサ副大統領候補2.34%(同53,685票)で、第二回投票を経ることなくタロン候補・タラタ副大統領の勝利が確定した。大統領の宣誓・就任式は、5月23日にポルト・ノボ市において実施される。(22日、La Nation 紙)

### 【外政】

- 22日、ペন駐ベナン中国大使は、アベノシ外務・協力大臣を訪問し、タロン大統領の再選にかかる習近平国家主席による祝辞を手交した。(23日、La Nation 紙)
- 15日及び23日、在ベナン米国大使館は、野党候補者の逮捕、大統領選挙の結果等を受け、人権と基本的自由を保障するようベナン政府に求める声明を発出した。(26日、Le Matin Libre 紙)

### 【治安・保健】

- 15～6日、コトヌ市、コリーヌ県バンテ市、ボルグ県パラク市及びチャウル市において大統領の任期問題をめぐり警察と野党支持者の間で散発的に衝突が発生した。(6日、Le Matinal 紙)
- 14日、内務・治安省は、選挙前の暴動において治安当局側に21名の負傷者が発生し、物的損害が数十億フランCFAに上ることを発表した。(15日、La Nation 紙)
- ベナンの治安当局は、3月25日、パンジャリ公園にて3名の不審人物を発見し、銃撃戦の末、1名を逮捕したことを公表した。逮捕者はブルキナファソ国籍の男性で、テロリストと認定された。(29日、L'Événement Précis 紙)

### 【経済】

- 米国格付け機関スタンダード・アンド・プアーズは、政府行動計画(PAG)に基づいた多くの改革及びコロナウイルス感染拡大におけるベナン政府の対応ぶりを称賛し、2020年6月および10月の発表に引き続き、ベナンの格付け「B+安定的」を維持した。(28日、La Nation 紙)

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、L'Économiste 紙および Le Matin Libre 紙の記事を元に記載したものです。

## 【内政】

- ・ 1日、2021年度国民議会の通常会期が開会した。ヴラヴォヌ国民議会議長は、国民議会の新議事堂の建設の着工を宣言した。工期は30か月の予定である。(2日、La Nation 紙)
- ・ 大統領選挙の円滑な遂行を促進すべく当地に派遣されているECOWAS選挙監視団は、ベナン全土に105名の専門家を配置した。(7日、Le Matinal 紙)
- ・ 9日、3月26日に始まった選挙キャンペーンが終了した。(9日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 11日、大統領選挙の投票が実施され、大きな混乱なく終えた。(12日、La Nation 紙)
- ・ 13日、大統領選挙第一回投票の暫定結果が独立国家選挙委員会(CENA)により公表された。投票率は、50.17%で、タロン候補・タラタ副大統領候補が86.37%を得票した。(14日、La Nation 紙)
- ・ 13日、ECOWAS選挙監視団は、大統領選挙が秩序正しく、透明な形で行われたと賞賛する声明を发出し、視察報告書をタロン大統領に提出した。(14日、15日、Le Matinal 紙)
- ・ 14日、スマヌーウンペ陣営(FCBE党公認)は、CENAの暫定結果を認める声明を発表した。(15日、Le Matinal 紙)
- ・ 14日、コウェーアゴサ陣営は記者会見を開催し、暫定結果において首位に立ったタロン・タラタ陣営を祝福した。(15日、La Nation 紙)
- ・ 15日、憲法裁判所は、CENAが発表した大統領選挙第一回投票の暫定結果を承認した。これを受け、タロン候補は勝利宣言を行った。(16日、La Nation 紙)
- ・ 16日、政治団体「民主主義回復戦線(FRD)」の代表で、今次の大統領選に登録したが推薦人不足のため非適格とされた憲法学者ジョエル・アイボ(Joel AIVO)が、3名の協力者とともに、国家の安全に対する侵犯と資金洗浄の容疑で逮捕された。(19日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 21日、憲法裁判所は、大統領選挙の結果を確定した。得票率50.63%、タロン候補・タラタ副大統領候補の投票率86.30%(得票数1,982,534票)、スマヌ候補・ウンペ副大統領候補11.37%(同261,096票)、コウェ候補・アゴサ副大統領候補2.34%(同53,685票)で、第二回投票を経ることなくタロン候補・タラタ副大統領の勝利が確定した。大統領の宣誓・就任式は、5月23日にポルト・ノボ市において実施される。(22日、La Nation 紙)
- ・ 28日、2019年11月に制定された野党地位法に基づき、FCBE党のウンペ党首が野党全体の代表に指名された。(5月3日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 29日、ヴラヴォヌ国民議会議長は、就任してから4回目の議長活動報告書を議会に提出し、前回一致で承認された。(30日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 30日、タロン大統領はフランスのテレビインタビューに出演し、大統領選挙をめぐる一連の話題について語った。(5月3日、La Nation 紙)

## 【外政】

- ・ 2日、大統領選のためベナンに滞在中のECOWAS選挙監視団は、モレッティ高等視聴覚通信局長と面会し、選挙期間中のメディアのあり方について意見交換を行った。(6日、La Nation 紙)
- ・ 16日、当地外交団は選挙前の暴動で負傷した治安部隊員の状況を視察すべく陸軍病院を訪れた。参加したのは、駐ベナン・ニジェール大使、EU大使、仏大使、米大使、独大使、蘭大使、ベルギー大使。(19日、La Nation 紙)
- ・ 19日、新任のアドス最高裁判所長官は、ジョベヌ憲法裁判所長官を表敬訪問し、民主主義と法治国家の強化のための両裁判所の機能について意見交換を行った。(20日、La Nation 紙)
- ・ 20日、モロッコ国王モハメッド6世は、ベナン大統領選挙の第一回投票で過半数を獲得したタロン現大統領へ祝辞を送った。(21日、La Nation 紙)
- ・ 22日、ペン駐ベナン中国大使は、アベノンシ外務・協力大臣を訪問し、タロン大統領の再選にかかる習近平国家主席による祝辞を手交した。(23日、La Nation 紙)
- ・ 15日及び23日、在ベナン米国大使館は、野党候補者の逮捕、大統領選挙の結果等を受け、人権と基本的自由を保障するようベナン政府に求める声明を発出した。(26日、Le Matin Libre 紙)
- ・ ニヤシンベ・トーゴ大統領、ウワタラ・コートジボワール大統領、ムサ・ファキ・アフリカ連合委員長、ムシキワボ・フランコフォニー国際機関事務局長らは、タロン大統領再選の祝辞を送った。(30日、La Nation 紙)
- ・ 30日、エルドアン・トルコ大統領は、駐ベナン・トルコ大使を介して、タロン大統領再選の祝辞を送った。(5月3日、La Nation 紙)

## 【治安・保健】

- ・ 4日、コトヌ市のダントツパ市場において1, 200㎡に及ぶ火災が発生し、多数の店舗が消失した。死傷者は確認されていない。(6日、Le Matinal 紙)
- ・ 5～6日、コトヌ市、コリーヌ県バンテ市、ボルグ県パラク市及びチャウル市において大統領の任期問題をめぐり警察と野党支持者の間で散発的に衝突が発生した。(6日、Le Matinal 紙)
- ・ 14日、内務・治安省は、選挙前の暴動において治安当局側に21名の負傷者が発生し、物的損害が数十億フランCFAに上ることを発表した。(15日、La Nation 紙)
- ・ 14日、タロン大統領は選挙前の暴動において負傷した治安部隊員を見舞うべく、カン・ゲゾ陸軍病院を訪問した。(15日、La Nation 紙)
- ・ 15日、タロン大統領は新型コロナウイルスのワクチン接種を受けた。(19日、La Nation 紙)
- ・ ベナンの治安当局は、3月25日、パンジャリ公園にて3名の不審人物を発見し、銃撃戦の末、1名を逮捕したことを公表した。逮捕者はブルキナファソ国籍の男性で、テロリストと認定された。(29日、L'Événement Précis 紙)

- ・ 29日、国民議会議員を対象に新型コロナウイルスのワクチン接種が実施され、ヴラヴォヌ議長らが接種を受けた。(30日、Le Matinal 紙)
- ・ 30日、ベナン中部のコリーヌ県バンテ市アトコリベ区アグボン村において、事故を起こしたミニバスが共和国警察により発見された。このミニバスを調べたところ、赤い油の染み混んだ56の袋の中に注意深く梱包され、隠されていた12口径の銃弾7万発が発見された。(5月3日、La Nation 紙)

#### 【経済】

- ・ 7日、ベナン政府は、電気自動車の製造を行う Yasmeeen Jawaharali Coo M Auto electric mobility とグロ・ジベ経済特区において事業展開するための合意を締結した。(8日、L'Économiste 紙)
- ・ 15日、仏インフラ・建設事業を営むヴァンシ・グループは、2億9,200万ユーロに上る運輸インフラネットワーク及び送電ネットワークの整備事業に係る契約をベナン政府と締結した。(19日、L'Économiste 紙)
- ・ 20日、在ベナンヨーロッパ商工会議所は、ベナン商工会議所と連携して、ベナン企業の競争力強化を目的に5億7,900億フランCFA(約1億1,600万円)の事業を実施することを発表した。(21日、L'Économiste 紙)
- ・ 米国格付け機関スタンダード・アンド・プアーズは、政府行動計画(PAG)に基づいた多くの改革及びコロナウイルス感染拡大におけるベナン政府の対応ぶりを称賛し、2020年6月および10月の発表に引き続き、ベナンの格付け「B+安定的」を維持した。(28日、La Nation 紙)

#### 【文化・その他】

- ・ 8～10日、空手の松濤館流のソソブ講師は、コトヌ市において若手の空手家を対象に講習会を開き、型と組み手の指導を行った。(13日、Le Matin Libre 紙)
- ・ 16日、アビンボラ観光・文化・芸術大臣は、リナレス駐ベナン・キューバ大使との間で、文化・芸術促進に向けた二国間協力を確認する覚書に署名した。(19日、Le Matinal 紙)
- ・ 17～18日、ベナン空手道連盟の主催で、17歳以下の空手家を対象に「リトラル県・アトランティック県空手大会」を開催する。(16日、La Nation 紙)
- ・ 19～23日、ベナン柔道連盟は、スポーツ省と連携して約10名の女性空手家を対象に、能力強化セミナーを実施した。(28日、La Nation 紙)